

平成31年度
(2019年度)

入学者選抜に関する要項



入 試 情 報

■ 群馬大学ホームページ <http://www.gunma-u.ac.jp/>

「入試案内」において、以下の情報等をお知らせしています。

- 学生募集要項
- 進学相談会・オープンキャンパス等各種イベント案内
- 入試実施状況、入試統計資料
- 入学時の経費（入学科・授業料等）・奨学金情報
- 過去の入試問題
- 資料請求方法

入学試験に関する問合せ先

受付時間 8時30分から12時、13時から17時15分（土・日曜日、祝休日、年末年始を除く）

本学は主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めています。問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■ 本要項及び入学試験全般に関するお問合せ

学務部学生受入課

電話 027-220-7150、7151、7152 / FAX 027-220-7155 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

■ 各学部入試担当係

○教育学部（教務係）

電話 027-220-7223 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○社会情報学部（教務係）

電話 027-220-7404 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○医学部（昭和地区事務部学務課入学試験係）

電話（医学科）027-220-8910 〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22
（保健学科）027-220-8909

○理工学部（学務係）

電話 0277-30-1037 〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

LINEとTwitterから入試情報をリアルタイムでお届けします。



https://page.line.me/gunma_uni_ad



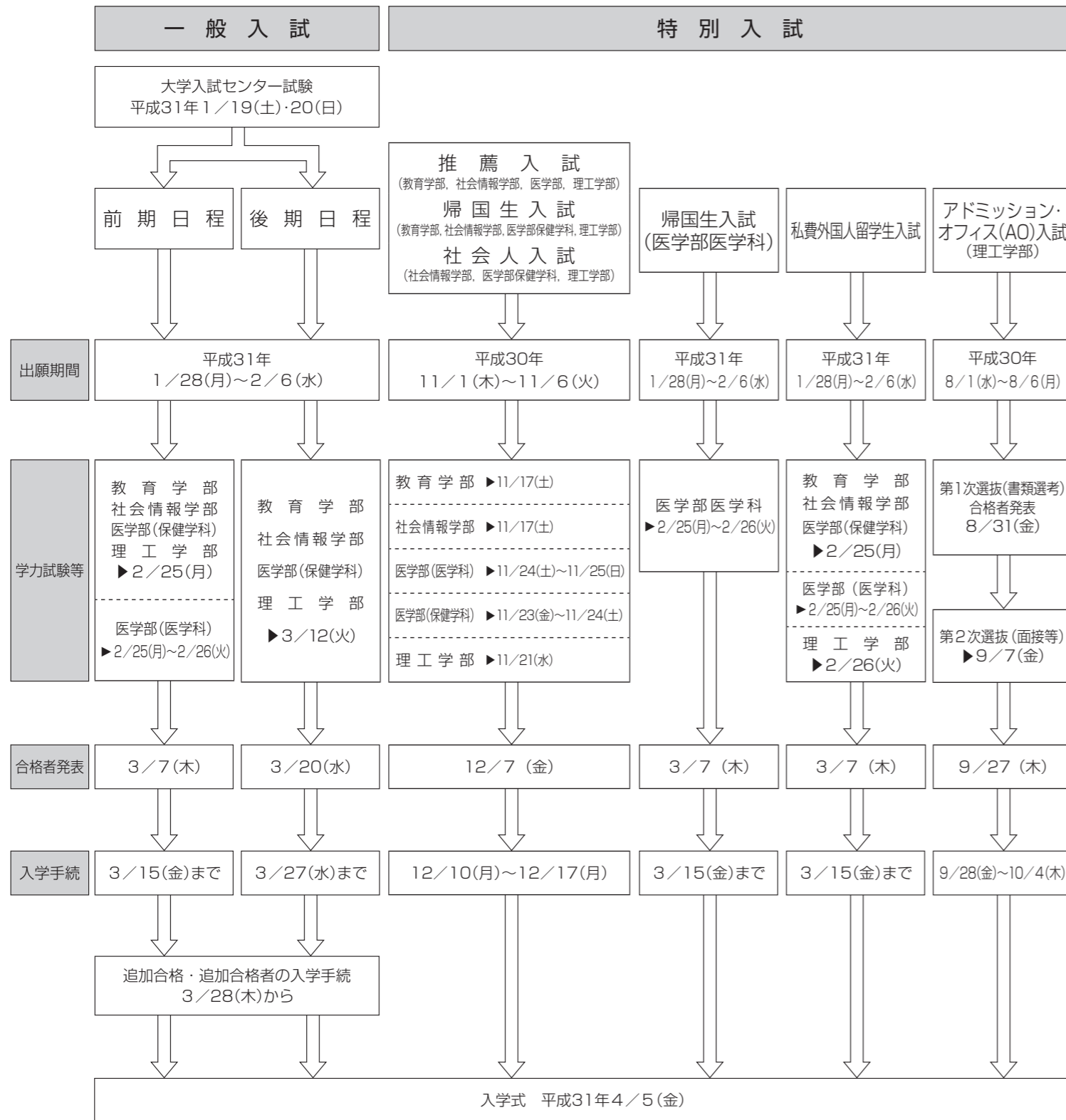
http://twitter.com/gunma_uni_ad

群馬大学公式HP
学生募集要項



<http://www.gunma-u.ac.jp/admission/g2017>

群馬大学入学者選抜日程の概要



本学では、これらの入学者選抜のほか、編入学試験を実施します。

詳細については、裏表紙「入学試験に関する問合せ先」の各学部入試担当係へ問合せください。

インターネット出願の導入について

群馬大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、平成31(2019)年度入学者選抜(平成30(2018)年度実施)から、一般入試(前期日程・後期日程)に加え、特別入試でもインターネット出願を導入します。これに伴い、紙の学生募集要項は廃止となります。

インターネット出願の導入により、学生募集要項の取り寄せが不要となり、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

高大接続ポータルサイト「Japan e-Portfolio」について

群馬大学では、文部科学省入学者選抜改革推進委託事業(主体性等分野)に参画し、多面的・総合的評価の実現を目指しています。平成31(2019)年度入学者選抜(平成30(2018)年度実施)から、推薦入試の提出書類である「活動歴を証明する書類」について、高大接続ポータルサイト「Japan e-Portfolio」を利用した提出が可能となります。なお、「Japan e-Portfolio」を利用した提出でも、従来どおりの紙による提出でも、平等に取り扱います。提出いただいたデータは入学者選抜に係るデータとして活用させていただきます。

高大接続ポータルサイト「Japan e-Portfolio」(https://jep.jp/)

- ※「Japan e-Portfolio」は、株式会社ベネッセコーポレーションへの委託により、同社のID管理システムを利用し、サービスの提供を行っています。
- ※ご利用には、SASSI から始まるログインIDとパスワードが必要です。
- ※ご利用IDをお持ちでない場合は、学校の先生にお問い合わせください。
- ※ログインIDやパスワードのお取り扱いには、十分ご注意ください。

〈群馬大学志願者の入学検定料免除について〉

群馬大学では、東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。免除の対象となる災害および被災地域など、免除に関する詳細については、本学のホームページを御覧ください。

目次

入学者選抜に関する要項

群馬大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
教育学部	3
社会情報学部	8
医学部医学科	9
医学部保健学科	10
理工学部	13
1. 入学定員（募集人員）	16
2. 過年度の大学入試センター試験成績	17
3. 複数受験について	17
4. 出願資格	17
5. 出願期間	18
6. 入学者選抜方法	18
別表1 平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）	19
別表2 平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）	21
別表3 平成31年度群馬大学入学者選抜（一般入試）の実施教科・科目等について	23
〔別紙〕音楽・美術・保健体育実技試験内容	41
7. 特別入試	43
(1) アドミッション・オフィス（AO）入試	43
(2) 推薦入試	44
(3) 帰国生入試	57
(4) 社会人入試	67
(5) 私費外国人留学生入試	70
8. 障害等のある入学志願者との事前相談について	72
9. 入学資格審査について	72
10. 注意事項	72
11. 入試過去問題の利用について	72
12. 募集要項の発表時期	73
13. 平成31年度群馬大学一般入試の志願状況等の発表	73

本要項は、本学の入学者選抜に関する基本的な事項をまとめたものです。入学者選抜の詳細については、各募集要項を御確認ください。

群馬大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜入学者に求める能力・資質＞

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 2 専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

＜入学者選抜の方針・方法＞

群馬大学は、本学で学びたい学生に対し、その多面的な能力を評価し選抜するために、多様な受験機会・入学試験を提供します。また、本学の国際化推進基本計画に基づいて、海外からの留学生を積極的に受け入れる方針の下、受験機会を提供します。

本学の教育の目標、求める能力・資質に合致する学生を選抜するために、一般入試（前期・後期）の他に、特別入試としてAO入試、推薦入試、帰国生入試、社会人入試、私費外国人留学生入試、3年次編入入学試験等の入学試験を実施します。本学の入学試験では、それぞれの学部・学科・課程の専門・特性に合わせて、大学入試センター試験、個別学力検査、実技等試験、調査書、活動歴、面接、小論文等を組み合わせて、総合的に合否を判定します。

必ずお読みください

各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学部

- 1 教職を目指す明確な意志と情熱を有する人
- 2 児童・生徒の成長に関わることに喜びを感じられる人
- 3 周囲とのコミュニケーション能力や協調性を備える人
- 4 諸課題の解決に向けて粘り強く努力できる人
- 5 系・専攻に関する事項に関心を持ち、教職を目指すために必要な基礎学力を有する人

〔国語専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に人文科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 主体的かつ協働的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 国語教育に対して強い探究心を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

<入学に際し必要な基礎学力>

古文・漢文を含む国語全般についての科目を履修していること。

〔社会専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に地理歴史科及び公民科の諸科目について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 人間社会の諸問題に幅広い探究心を持っている人
- 3 自らのことばで表現・発信しながらさまざまな立場の人々と積極的に議論できる人

<入学に際し必要な基礎学力>

- ・ 高等学校で「世界史B」、「日本史B」、「地理B」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。
- ・ 高等学校で「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。

〔英語専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解があり、特に英語の「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の4技能をバランスよく身に付けている人
- 2 論理的で柔軟な思考能力を持ち、直面する課題を正しく理解し、自ら判断し、自分の考えを表現する能力を持っている人
- 3 知的好奇心が旺盛で、探究心が強く、主体的に学び、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
- 4 様々な課題に対して、多様な人々と協働して取り組む姿勢がある人

<入学に際し必要な基礎学力>

- ・ 入学試験で選択した科目について基礎的知識と総合的理解力を有していることが望ましい。
- ・ 英検2級以上の力を付けておくことが望ましい。

〔数学専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について総合的理解のある人
- 2 論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢を持ち、新しい課題に積極的に取り組む意欲のある人

<入学に際し必要な基礎学力>

数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bを履修していること。

〔理科専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程(特に理科)について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 自然科学と理科教育に対して強い興味・関心を持っている人
- 3 理科の知識に基づいた思考・判断ができ、それを論理的に表現できる人
- 4 周囲の人々と協働しながら、実験・観察に主体的に取り組むことができる人

<入学に際し必要な基礎学力>

物理、化学、生物、地学のうち2科目及び数学Ⅲを履修していることが望ましい。

〔技術専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 小学校・中学校又は高等学校の教員となる強い意志を有し、在学中から児童・生徒の模範として行動できる人
- 2 論理的で柔軟な思考力を持っている人
- 3 科学技術やものづくりに対して強い興味・関心のある人
- 4 様々な学問分野について自ら積極的に学ぶ姿勢を持っている人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(あるいは同等の科目)、理科では、物理(物理基礎を含む)を履修していることが望ましい。

〔音楽専攻〕

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に「芸術」の「音楽」分野において、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解があり、声楽・器楽等の十分な知識や技能を有している人
- 2 音楽理論をよく理解し、音楽についての深い思考力、判断力、表現力を持っている人
- 3 主体的に、そして多様な人々と協働して学ぶことができ、実践することができる人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(あるいは同等の科目)のうち2つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

〔美術専攻〕

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に芸術を含む人文・社会科学分野等において、大学教育を受けるにふさわしい思考力・判断力・表現力等の総合的学力を身に付けている人
- 2 美術の基礎的な造形表現能力を持ち、美術と社会との関係を深く考えることができる人
- 3 主体的に学び、協働して取り組む姿勢を持っている人
- 4 創造活動や新たな課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

- ・ 美術Ⅰを履修していることが望ましい。
- ・ 美術館等に行くことを通して社会や教育における美術の働きについて考える習慣を身に付けていることが望ましい。

〔家政専攻〕

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に家庭科や自然科学・社会科学分野の知識と総合的理解力を持っている人
- 2 家政学及び生活科学について主体的に探究し、多様な人々と協働して学べる人
- 3 生活問題や新しい課題に対して自ら思考・判断し、積極的に取り組む意欲のある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

家庭科、化学や生物などの自然科学分野、公民や歴史などの社会科学分野の知識を有していることが望ましい。

〔保健体育専攻〕

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 保健体育及び運動・スポーツ活動に興味を持ち、それらに関する基礎的な知識・技能を有する人
- 2 保健体育及び運動・スポーツ活動に関わる課題を見出し、課題解決に向けて思考、判断、表現しながら、粘り強く努力する人
- 3 教職を目指すために、主体的かつ協働的に学ぼうとする人
- 4 子どもたちとともに運動の楽しさや喜びを味わえる人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

- ・ 高等学校までの保健体育に関する基礎的知識を有している。
- ・ 運動やスポーツ活動における基礎体力及び運動技能を有している。
- ・ 自信を持って実践できる運動やスポーツ活動の経験を有している。

〔教育専攻・教育心理専攻〕

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

【教育専攻】

- 1 高等学校で履修した各科目について幅広い知識を身に付けた人
- 2 教育問題など現代社会の諸問題に対する強い探究心を有している人
- 3 教科外の諸活動にも積極的に参加し、多くの人と関わって物事に取り組む経験をしてきた人

【教育心理専攻】

- 1 高等学校で履修した各科目について幅広い知識を身に付けた人
- 2 教育問題など現代社会の諸問題について、様々な観点から思考・判断・表現する力を有している人
- 3 他者とともに物事に主体的に取り組むことを通して成長してきた人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

【教育専攻・教育心理専攻】

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。

〔障害児教育専攻〕

<人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解のある人
- 2 主体的に学ぶ姿勢と、教員にふさわしい論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 特別支援教育に対し、強い意欲がある人

<入学に際し必要な基礎学力>

特別支援教育に携わる教員にふさわしい、読解・記述の能力、各教科の基礎知識を備えていること。

社会情報学部

<人材育成の目標>

社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される過程に関する知識を有し、批判的な思考・判断によって高度情報社会の課題を発見し、その解決を科学的な思考と実践的な情報処理やデータの収集・分析によって提案できる人材の育成

<入学者に求める能力・資質>

- 1 社会の仕組みや情報技術に関する基本的な知識を持つ人
- 2 科学的な考え方や基本的な分析手法を身に付けている人
- 3 思考力・表現力の基礎となる言語運用能力を身につけている人
- 4 高度情報社会の在り方や望ましい発展に関心がある人
- 5 情報処理能力やデータの収集・分析能力を身に付けようとする人
- 6 外国語運用能力の向上と多文化の理解に関心がある人

<入学に際し必要な基礎学力>

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。国語や数学、英語、地理歴史、公民、理科等を学習し、さらに広く情報社会の出来事に関心を持つようにしておくことが望ましい。

医学部医学科

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学生として、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって自己研鑽に励むことができる人

- 1 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身につけることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
- 2 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
- 3 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

<入学に際し必要な基礎学力>

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理(物理基礎を含む)、化学(化学基礎を含む)、生物(生物基礎を含む)である。

医学部保健学科

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学修を通して、学士(看護学・保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

〔看護学専攻〕

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士(看護学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

〔検査技術科学専攻〕

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士(保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 臨床検査技師・細胞検査士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

〔理学療法学専攻〕

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士(保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 理学療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

〔作業療法学専攻〕

<人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士(保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。

- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

<入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

<入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

必ずお読みください

理工学部

- 1 誰も行ったことのない新しいことに挑戦することが好きで、失敗をおそれない人
- 2 自らの能力向上を目指し、そのための労を惜しまない人
- 3 自然現象や科学技術などに興味があり、それらを通じて自然科学の原理原則を最後まで追究したい人
- 4 理工学を学ぶ上での基礎学力を有し、理学的基盤(数学、物理学、化学、生物学など)の理解を基に新理論・新技術の開発にチャレンジしたい人
- 5 理工学分野で国際的な活躍を目指す人

〔化学・生物化学科〕

＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、物質の構成原理・物性の解明、新規反応の開発、新規機能材料の創製、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明等の諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え、人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも化学、生物学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理(物理基礎を含む。)、化学(化学基礎を含む。)、生物(生物基礎を含む。)(あるいは同等の科目)のうち二つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

〔機械知能システム理工学科〕

＜人材育成の目標＞

幅広い自然科学と人文科学の教養と、機械の工学と技術に関する深遠な専門知識を有し、これをもって人類の持続的な発展と福祉に寄与し、さらに、地球環境との調和を意識しながら新しい機械と機械システムを創造していくことができる柔軟性豊かな高度専門職業人を育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 機械とその知能化に興味があり、理工学、中でも物理学、数学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(あるいは同等の科目)、理科では、物理(物理基礎を含む。)と化学(化学基礎を含む。)(あるいは同等の科目)、及び英語を履修していることが望ましい。

〔環境創生理工学科〕

＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、物質とエネルギーの性質を理解し、それらの流れと収支を捉えた上で、環境問題やエネルギーに関する諸課題、又は自然環境との調和を図りながら、種々の社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理に関する諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え、人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも物理、化学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(あるいは同等の科目)、理科では、物理(物理基礎を含む。)、化学(化学基礎を含む。))及び英語を履修していることが望ましい。

〔電子情報理工学科〕

＜人材育成の目標＞

個々の多様な探究心に応える基礎から応用までを網羅した体系的教育と、質の高い学修支援に基づいて、自然科学、特に数学・物理学・化学の基礎知識に立脚し、電気・電子・情報分野の理工学に関する深い造詣を身に付けるとともに、これらを基礎とした新たな学術領域や応用分野の開拓に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野と倫理観を有する、社会で広く活躍できる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、身に付けた知識・能力を社会・地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも数学、物理学を基盤とする分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(あるいは同等の科目)、理科では、物理(物理基礎を含む。)、化学(化学基礎を含む。)(あるいは同等の科目)のうち一つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

〔総合理工学科〕

＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、理工学分野の諸課題に既存の学問分野の枠にとらわれず意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学に対して広い興味と強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学科では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(あるいは同等の科目)、理科では、物理(物理基礎を含む。)、化学(化学基礎を含む。)、生物(生物基礎を含む。)(あるいは同等の科目)のうち二つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

1. 入学定員（募集人員）

学部	学科・課程・専攻	入学定員	募 集 人 員						備 考	
			特 別 入 試				一 般 入 試			
			アドミッション・オフィス(AO)	推薦入試(専門学科・総合学科を含む)	帰国生	社会人	私費外国人留学生	前期日程		後期日程
教育学部	文化・社会系	220								※教育人間科学系の募集人員については下記のとおりです。 (1)前期日程16名については、おおむね教育専攻3名 教育心理専攻3名 障害児教育専攻10名を目安とします。 (2)後期日程8名については、おおむね教育専攻3名 教育心理専攻2名 障害児教育専攻3名を目安とします
	国語専攻		-	6	-	-	若干名	15	3	
	社会専攻		-	5	若干名	-	若干名	17	4	
	英語専攻		-	-	-	-	若干名	12	3	
	自然・情報系									
	数学専攻		-	5	若干名	-	若干名	18	2	
	理科専攻		-	4	若干名	-	若干名	17	5	
	技術専攻		-	-	-	-	若干名	7	4	
	芸術・表現系									
	音楽専攻		-	-	若干名	-	若干名	11	4	
	美術専攻		-	2	若干名	-	若干名	9	4	
	生活・健康系									
	家政専攻		-	-	-	-	若干名	11	4	
	保健体育専攻		-	5	-	-	若干名	12	3	
	教育人間科学系									
教育専攻	-	-	-	-	若干名	16	8			
教育心理専攻					若干名					
障害児教育専攻		4	若干名		若干名					
計	220	-	31	若干名	-	若干名	145	44		
社会情報学部	社会情報学科	100	-	28 ^{注3}	若干名	若干名	若干名	56	16	
	計	100	-	28	若干名	若干名	若干名	56	16	
医学部	医学科	108	-	35 ^{注4}	若干名	-	若干名	73 ^{注4}	-	
	看護学専攻	80	-	30	若干名	若干名	若干名	33	17	
	検査技術科学専攻	40	-	9	若干名	若干名	若干名	22	9	
	理学療法専攻	20	-	8	若干名	若干名	若干名	8	4	
	作業療法学専攻	20	-	8	若干名	若干名	若干名	8	4	
	小計	160	-	55	若干名	若干名	若干名	71	34	
計	268	-	90	若干名	若干名	若干名	144	34		
理工学部	化学・生物化学科	160	2	60 ^{注5}	若干名	-	若干名	86	12	
	機械知能システム理工学科	110	4	33 ^{注5}	若干名	-	若干名	60	13	
	環境創生理工学科	90	2	28 ^{注5}	若干名	-	若干名	50	10	
	電子情報理工学科	120	5	35 ^{注5}	若干名	-	若干名	70	10	
	総合理工学科(フレックス制)	30	-	-	-	若干名	-	27	3	
計	510	13	156	若干名	若干名	若干名	293	48		
合計	1,098	13	305	若干名	若干名	若干名	638	142		

注1 アドミッション・オフィス(AO)入試の入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、推薦入試の募集人員に、この満たない人数を加えます。

2 推薦入試の入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。

3 社会情報学部社会情報学科の推薦入試の募集人員28名にはGFL特別枠及びデータ解析特別枠若干名を含みます。

4 医学部医学科の推薦入試の募集人員35名には地域医療枠10名程度、前期日程の募集人員73名には地域医療枠6名程度を含みます。

5 理工学部各学科の推薦入試の募集人員(化学・生物化学科60名、機械知能システム理工学科33名、環境創生理工学科28名、電子情報理工学科35名)にはGFL特別枠若干名を含みます

6 理工学部総合理工学科(フレックス制)では、夜間開講科目の履修のみで卒業することができます。

また、夜間開講の必修・選択科目と昼間開講の選択科目を履修して卒業することもできます。

2. 過年度の大学入試センター試験成績

過年度の大学入試センター試験の成績は、利用しません。

3. 複数受験について

(1) 国立大学・学部への出願

志願者は、一般入試においては、「前期日程」、「後期日程」からそれぞれ1つの計2つの大学・学部に出願することができます。

※公立大学においては、協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照

(2) 学内併願

本学では、前期・後期の学内併願を各学部ともに認めます。ただし、特別入試については、同一日程の特別入試を併せて受験することはできません。

4. 出願資格

(1) 一般入試については、次の①から⑩のいずれかに該当し、本学が指定する平成31年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者とします。

① 高等学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者

② 中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者

③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成31年3月31日までに修了見込みの者

④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成31年3月31日までに修了見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

⑤ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者

⑥ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者

⑦ 文部科学大臣の指定した者

⑧ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

⑨ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により本学以外の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

⑩ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

※上記⑨又は⑩によって本学の出願資格を得ようとする者は、「9.入学資格審査について」(72ページ)を参照してください。

(2) アドミッション・オフィス（AO）入試については、別に定める出願資格及び出願要件（43ページ）とし、大学入試センター試験は課しません。

(3) 推薦入試については、次の①から③のいずれかに該当する者とし、大学入試センター試験は課しません。なお、出願要件（44～56ページ）は別に定めます。

① 平成31年3月31日までに高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者（平成30年度中に卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）

② 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月31日までに修了見込みの者（平成30年度中に修了した者又は修了見込みの者を含む。）

③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者

(4) 帰国生、社会人及び私費外国人留学生入試については、別に定める出願要件（57～71ページ）とし、大学入試センター試験は課しません。

5. 出願期間

- | | |
|--|-------------------------|
| (1) 特別入試（アドミッション・オフィス(AO)入試) | 平成30年8月1日(水)から8月6日(月) |
| (2) 特別入試（推薦、帰国生（教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部）及び社会人（社会情報学部、医学部保健学科、理工学部）） | 平成30年11月1日(木)から11月6日(火) |
| (3) 一般入試・特別入試（帰国生（医学部医学科）、私費外国人留学生入試） | 平成31年1月28日(月)から2月6日(水) |

6. 入学者選抜方法

各入試の選抜方法は次のとおりです。

(1) 一般入試

大学入試センター試験及び個別学力検査等（本学の各学部・学科等が指定する学力試験、小論文、面接、実技試験等）の成績並びに調査書を総合して判定します。

① 各学部・学科等の入学者選抜方法等は、別表1（19・20ページ）を参照してください。

② 各学部・学科等の一般入試の実施教科・科目等は、別表3（23～40ページ）又は別紙〔音楽・美術・保健体育実技試験内容〕（41・42ページ）を参照してください。

別表3（23～40ページ）の教科・科目名等に使用してある次の表示は、それぞれカッコ内の語を表しています。

国（国語）、地歴（地理歴史）、世（世界史）、日（日本史）、現社（現代社会）、倫（倫理）、政経（政治・経済）、倫・政経（倫理、政治・経済）、数（数学）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）、理（理科）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地基（地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、外（外国語）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）

(2) 特別入試

別表2（21・22ページ）及び次の①～⑤のとおり参照してください。

① アドミッション・オフィス(AO)入試は、43ページを参照してください。

② 推薦入試は、44～56ページを参照してください。

③ 帰国生入試は、57～66ページを参照してください。

④ 社会人入試は、67～69ページを参照してください。

⑤ 私費外国人留学生入試は、70・71ページを参照してください。

別表1

平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）

(1/2)

学部・学科・専攻等	選抜方法等	個別学力検査等										専門学科・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		学力試験を課する	実技試験等					2段階選抜							
			系共通問題を課する	実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		第2段階の選抜による合格者数					
								定員に対する倍率	その他						
文化・社会系 自然・情報系 芸術・表現系 生活・健康系 教育人間科学系	国語専攻	前期	×	○	×	×	○	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(月)	後期日程 3月12日(火)	注参照		
	後期	×	×	×	○	×	×								
	社会専攻	前期	×	○	×	×	○	×							
	後期	×	×	×	○	×	×								
	英語専攻	前期	○	○	×	×	×	○							
	後期	×	×	×	○	×	×								
	数学専攻	前期	○	×	×	×	×	×							
	後期	×	○	×	×	×	×								
	理科専攻	前期	×	×	×	×	○	×							
	後期	×	○	×	×	×	×								
	技術専攻	前期	○	×	×	×	×	×							
	後期	×	○	×	×	×	×								
	音楽専攻	前期	○	○	○	×	×	×							
	後期	×	×	○	×	×	×								
	美術専攻	前期	×	○	○	○	×	×							
	後期	×	×	○	○	×	×								
家政専攻	前期	×	○	×	×	○	×								
後期	×	×	×	×	○	×									
保健体育専攻	前期	×	○	○	×	×	×								
後期	○	×	○	×	×	×									
教育専攻	前期	×	○	×	×	×	×								
後期	×	×	×	○	×	×									
教育心理専攻	前期	×	○	×	×	×	×								
後期	×	×	×	○	×	×									
障害児教育専攻	前期	×	○	×	×	×	×								
後期	×	×	×	○	×	×									

別表1

平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）

(2/2)

学部・学科・専攻等	選抜方法等	個別学力検査等										専門学科・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		学力試験を課する	実技試験等					2段階選抜							
			実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		第2段階の選抜による合格者数						
							定員に対する倍率	その他							
社会情報学部	社会情報学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(月)	注参照				
		後期	×	×	×	○	×			後期日程 3月12日(火)					
医学部	医学科	前期	○	×	○	○	×	○	約3倍	実施しない	前期日程 2月25日(月) ~26日(火)				
		後期	実施しない												
	保健学科	看護学専攻	前期	×	×	×	○	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(月)				
			後期	×	×	×	○	×							
		検査技術科学専攻	前期	×	×	×	○	×							
			後期	×	×	×	○	×							
		理学療法学専攻	前期	×	×	×	○	×							
			後期	×	×	×	○	×							
作業療法学専攻	前期	×	×	×	○	×									
	後期	×	×	×	○	×									
理工学部	化学・生物化学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(月)					
		後期	×	×	○	×	×								
	機械知能システム理工学科	前期	○	×	×	×	×								
		後期	×	×	○	×	×								
	環境創生理工学科	前期	○	×	×	×	×								
		後期	×	×	○	×	×								
	電子情報理工学科	前期	○	×	×	×	×								
		後期	×	×	○	×	×								
	総合理工学科(フレックス制)	前期	○	×	×	×	×								
		後期	×	×	○	×	×								

注1 入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合には追加合格者の決定を行い、更に欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を行う。

注2 一般入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。

平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）

(1/2)

学部・学科・専攻等	選抜方法等	推薦入試 注1								推薦入試募集人員	備考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力試験を免除し調査書を主な資料として判定する										
		個別学力検査等を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査等及び大学入試センター試験を免除する	実技試験等					その他			
		実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する							
教育学部	文化・社会系	国語専攻	×	○	×	○	○	×	×	6名	実施しない 若干名 実施しない 若干名 実施しない 若干名 実施しない 若干名 実施しない 若干名 若干名	若干名
		社会専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名		
	自然・情報系 芸術・表現系 生活・健康系 教育人間科学系	英語専攻	実施しない									
		数学専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名		
		理科専攻	×	○	×	○	○	×	×	4名		
		技術専攻	実施しない									
		音楽専攻	実施しない									
		美術専攻	×	○	○	○	×	×	×	2名		
		家政専攻	実施しない									
		保健体育専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名		
教育学部	教育専攻	実施しない										
	教育心理専攻	実施しない										
	障害児教育専攻	×	○	×	○	○	×	×	4名			

平成31年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）

(2/2)

学部・学科	選抜方法等	推薦入試 注1								推薦入試募集人員	備考						
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力試験を免除し調査書を主な資料として判定する															
		個別学力検査等を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技試験等					その他								
		実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する												
社会情報学部	社会情報学科	×	○	×	○	○	×	×	28名	実施しない	若干名	実施しない	若干名	若干名			
医学部	医学科	×	○	×	○	○	×	×	35名		若干名	実施しない	若干名				
	保健看護学専攻	看護学専攻	×	○	×	○	○	×	×		30名	若干名	実施しない	若干名			
		検査技術科学専攻	×	○	×	○	○	×	×		9名						
		理学療法学専攻	×	○	×	○	○	×	×		8名						
理工学部	作業療法学専攻	×	○	×	○	○	×	×	8名		若干名	実施しない	若干名				
	化学・生物化学科	×	○	×	○	○	×	×	60名					2名	若干名	実施しない	若干名
	機械知能システム理工学科	×	○	×	○	×	×	×	33名					4名			
	環境創生理工学科	×	○	×	○	×	×	×	28名					2名			
理工学部	電子情報理工学科	×	○	×	○	×	×	×	35名		5名	実施しない	若干名	実施しない			
	総合理工学科（フレックス制）	実施しない															

注1 推薦入試については、44～56ページを参照してください。

注2 アドミッション・オフィス（AO）入試については、43ページを参照してください。

注3 帰国生・社会人等のための特別入試については、57～69ページ、私費外国人留学生入試については、70・71ページを参照してください。

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
教育学部 189人 前期 145 後期 44 〔3.9〕	学校教育 教員養成課程	文化・ 社会系	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	その他 小論文 系共通試験（小論文）		
			後期 3月12日	公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経			
		18人 前期 15 後期 3	文化・ 社会系	前期 2月25日	数 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	その他 面接 集団面接／15～20分／面接員複数／口 頭試問を含む	
				後期 3月12日	理 ア. 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ. 物, 化, 生, 地学から1		
		21人 前期 17 後期 4	文化・ 社会系	前期 2月25日	外 英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他 小論文 系共通試験（小論文）	
				後期 3月12日	〔5教科6科目又は5教科7科目〕 若しくは 〔6教科6科目又は6教科7科目〕		
		15人 前期 12 後期 3	文化・ 社会系	前期 2月25日	外 英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュ ニケーション英語Ⅱ、コミュニケーショ ン英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ。 なお、リスニングテストを含む。)	その他 系共通試験（小論文）	
				後期 3月12日	その他 面接 集団面接／約20～30分／面接員複数／口 頭試問を含む		

教育学部 文化・社会系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせて選択することはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 英語専攻では、上記③の(1)の配点に、傾斜配点(×2.0)を行います。
- 面接(※印)は総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

の実施教科・科目等について

(1/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接	
推薦 外国人	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等						300	100				400
	計	200	200		100	100	200	300	100			1200
追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		
	計	200	200		100	100	200					800
推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等						300	100				400
	計	200	200		100	100	200	300	100			1200
追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		
	計	200	200		100	100	200					800
外国人	センター試験	200	200		100	100	400					1000
	個別学力検査等						300		100			400
	計	200	200		100	100	700		100			1400
追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	400					1000
	個別学力検査等									※		
	計	200	200		100	100	400					1000

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部 189人 前期 145 後期 44 〔3.9〕	自然・ 情報系 数学 20人 前期 18 後期 2	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B
		後期 3月12日	理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）
	自然・ 情報系 理科 22人 前期 17 後期 5	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理 ア, 物基, 化基, 生基, 地基から2 } イ, 物, 化, 生, 地学から1 } 外 イ, 物, 化, 生, 地学から2 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕	その他	小論文
		後期 3月12日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）
自然・ 情報系 技術 11人 前期 7 後期 4	前期 2月25日 後期 3月12日	前期	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B
		後期	理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）

教育学部 自然・情報系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせることはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 数学専攻における前期・後期、理科専攻における後期及び技術専攻における前期・後期の「理科」については、2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。
- 理科専攻における前期の「理科」については、アの場合、同一名称を含む科目（「物理」と「物理基礎」等）を組み合わせることはできません。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

の実施教科・科目等について

(2/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等		
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接		配点 合計	
推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				300								300	
	計	200	*100	*100	500	100	200						1100	
推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	300	200	200						1000	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								200				200	
	計	200	*100	*100	300	200	200		200				1200	
推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										300		300	
	計	200	*100	*100	200	200	200				300		1200	
外国人	センター試験	200	*100	*100	300	200	200						1000	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等									200			200	
	計	200	*100	*100	300	200	200			200			1200	
外国人	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				300								300	
	計	200	*100	*100	500	100	200						1100	
外国人	センター試験	200	*100	*100	300	200	200						1000	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等									200			200	
	計	200	*100	*100	300	200	200			200			1200	

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 後期日程の数学専攻、理科専攻、技術専攻では、大学入試センター試験の配点について、「数学」に傾斜配点(×1.5)、「理科」に傾斜配点(×2.0)を行います。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
教育学部 189人 前期 145 後期 44 〔3.9〕	学校教育 教員養成課程 15人 前期 11 後期 4	芸術・ 表現系 音楽	前期 2月25日	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経	その他	楽典に関する筆記試験 実技 系共通試験（小論文）	
			後期 3月12日	数	数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	その他	実技
				理	ア. 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ. 物, 化, 生, 地学から1	ア 又は イ	
		芸術・ 表現系 美術	前期 2月25日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5科目又は5教科6科目〕	その他	実技 系共通試験（小論文） 集団面接/約30分/面接員複数/ グループワーク、口頭試問を含む
			後期 3月12日	その他		実技 集団面接/約30分/面接員複数/ グループワーク、口頭試問を含む	

教育学部 芸術・表現系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせず選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」については、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

- 音楽専攻の「楽典に関する筆記試験」については、音程、音階、和音、リズム、音符等に関する筆記試験を行います。
- 「実技」の試験内容については、別紙「音楽・美術・保健体育実技試験内容」（41・42ページ）を参照してください。
- 「小論文」については、次のとおりです。
 - ① 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - ・ 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - ・ 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - ・ 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
 - ② 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点に換算します。
なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- 面接(*印)は総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

の実施教科・科目等について

(3/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選 抜方法等	
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	楽典	小論文	系共通	実技	面接	配点 合計		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	帰国生 外国人 追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等							90	100	260			450		
	計	200	*100	*100	100	100	200	90	100	260			1150		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700		推薦 帰国生 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等									350			350		
	計	200	*100	*100	100	100	200			350			1050		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等									100	300	※	400		
	計	200	*100	*100	100	100	200			100	300		1100		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700		追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										350	※	350		
	計	200	*100	*100	100	100	200				350		1050		

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
教育学部 189人 前期 145 後期 44 〔3.9〕	生活・健康系 家政 15人 前期 11 後期 4	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	その他	小論文 系共通試験（小論文）	
		後期 3月12日	理 ア, 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ, 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他	小論文	
	生活・健康系 保健体育 15人 前期 12 後期 3	前期 2月25日	〔5教科6科目又は5教科7科目 若しくは 6教科6科目又は6教科7科目〕	その他	実技 系共通試験（小論文）	
		後期 3月12日		その他	保健体育に関する筆記試験 実技	

教育学部 生活・健康系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせず選択することはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

- 「実技」の試験内容については、別紙「音楽・美術・保健体育実技試験内容」（41・42ページ）を参照してください。
- 「小論文」については、次のとおりです。
 - 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
 - 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。
なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 家政専攻及び保健体育専攻では、大学入試センター試験の配点について、「理科」に傾斜配点(×2.0)を行います。

の実施教科・科目等について

(4/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等	
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保健 体育	小論文	系共通	実技	面接		配点 合計
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	200	200						900	
	個別学力検査等								400	100			500	
	計	200	200		100	200	200		400	100			1400	
推薦 外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	200	200						900	
	個別学力検査等								150				150	
	計	200	200		100	200	200		150				1050	
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	200	200						900	
	個別学力検査等									100	400		500	
	計	200	200		100	200	200			100	400		1400	
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	200	200						900	
	個別学力検査等								50		100		150	
	計	200	200		100	200	200		50		100		1050	

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等							
教育学部 189人 前期 145 後期 44 〔3.9〕	教育学部 教育人間科学系 24人 前期 16 後期 8 （おおむね教育3名、障害児教育10名を目安とします。） 教育学部 教育心理3名、障害児教育3名を目安とします。） 教育学部 教育心理2名、障害児教育3名を目安とします。）	前期 2月25日	国 国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B 理 ア. 物基, 化基, 生基, 地学から2 イ. 物, 化, 生, 地学から1	その他 系共通試験（小論文）	その他 系共通試験（小論文）							
						後期 3月12日	外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目又は5教科7科目〕 若しくは 〔6教科6科目又は6教科7科目〕	その他 面接 1回目：集団面接／15～20分／ 面接員複数 2回目：集団面接／15～20分／ 面接員複数	その他 面接 1回目：集団面接／15～20分／ 面接員複数 2回目：集団面接／15～20分／ 面接員複数			
										前期 2月25日	その他 系共通試験（小論文）	その他 系共通試験（小論文）
										前期 2月25日	その他 系共通試験（小論文）	その他 系共通試験（小論文）

教育学部 教育人間科学系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせず選択することはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解したか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合には、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 面接（※印）は総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

の実施教科・科目等について

(5/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接	
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等								300			300
	計	200	200		100	100	200		300			1100
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		800
	計	200	200		100	100	200					1100
推薦 帰国生 外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等								300			300
	計	200	200		100	100	200		300			1100
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		800
	計	200	200		100	100	200					1100

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		※教科	科目名等	教科等	科目名等	
社会情報学部 72人 前期 56 後期 16 〔5.4〕	社会情報学科 前期 2月25日	a	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から2 地理A, 地理B	数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ア. 物基, 化基, 生基, 地基から2 }ア又はイ イ. 物, 化, 生, 地学から1 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕	数 外 数学(数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) 英語(コミュニケーション英語 基礎, コミュニケーション英語 Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英 語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ)	数学 又は 英語
			国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B			
	b	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B	公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ウ. 物基, 化基, 生基, 地基から2 }ウ又はエ 物, 化, 生, 地学から1 } エ. 物, 化, 生, 地学から2 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕	ウ 又は エ	
		c				国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B
後期 3月12日	c	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B	公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ウ. 物基, 化基, 生基, 地基から2 }ウ又はエ 物, 化, 生, 地学から1 } エ. 物, 化, 生, 地学から2 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕	ウ 又は エ	
		国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B				公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経

※ 大学入試センター試験の利用教科・科目は、前期・後期ともa～cのいずれかの型になります。

社会情報学部注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせて選択することはできません。
- 理科の「基礎を付した科目」を利用する場合は、任意の2科目を必ず選択解答してください。（「基礎を付した科目」を1科目のみ選択することはできません。）
- 理科については、cのウの場合、同一名称を付した科目（「物理」と「物理基礎」等）を選択することができます。
- 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について、a～cの型を超えて受験した場合は、以下の取扱いとします。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「物基、化基、生基、地基」及び「物、化、生、地学」を受験している場合は、「地理歴史及び公民の第1解答科目」の成績及び「地理歴史及び公民の第2解答科目」、「物基、化基、生基、地基」、「物、化、生、地学」のうち「高得点の2科目（ただし、「物基、化基、生基、地基」は2科目の合計点を1科目として取扱う）」の成績を用います。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目及び「理科」の「物、化、生、地学」から2科目を受験している場合は、「地理歴史及び公民の第1解答科目」の成績、「理科の第1解答科目」の成績及び「他の2科目のうち高得点の科目」の成績を用います。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、広く現代社会に関する諸問題への関心度と理解度をみるとともに、勉学に必要な長文読解力、論理的思考力、文章表現力等を試します。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合には、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 前期日程個別学力検査について、2教科とも受験している場合は、高得点の教科の成績を用います。また、数学及び英語の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

の実施教科・科目等について

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等	
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計		
センター試験	センター試験	200	*200			200	*100	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
			*100				*200						
	個別学力検査等				*400		*400				400	追加合格 欠員補充	
計	計	200	*200			200	*100	200				1300	
			*100				*200						
	センター試験	200				*100		*200				900	
計	計	200	*200			200	*100	200	400			400	
			*100				*200						
	個別学力検査等											400	
計	計	200	*200			200	*100	200	400			1300	
			*100				*200						
	センター試験	200				*100		*200				900	

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部 医学科 73人 前期 73 〔2.7〕	前期 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B【必須】 物, 化, 生から2 英, 独, 仏から1 〔5教科7科目〕	数 理 その他 面接 集団面接/25分/面接員複数	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物基, 物, 化基, 化 小論文(理系と英語の能力を問うことがある) 面接
医学部 保健学科 105人 前期 71 後期 34 〔4.3〕	看護学専攻 前期 33 後期 17 検査技術科学専攻 前期 22 後期 9 理学療法学専攻 前期 8 後期 4 作業療法学専攻 前期 8 後期 4	前期 2月25日 後期 3月12日 前期 2月25日 後期 3月12日 前期 2月25日 後期 3月12日 前期 2月25日 後期 3月12日	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他 小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) その他 小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) その他 小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) その他 小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) その他 小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) その他 小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)	小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) 小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) 小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) 小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある) 小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)

医学部注意事項

〔注〕1 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 〔地理歴史〕及び〔公民〕については、同一名称を含む科目〔地理A〕と〔地理B〕、〔倫理〕と〔倫理、政治・経済〕等を組み合わせて選択することはできません。
- 〔地理歴史〕及び〔公民〕について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

〔注〕2 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 医学科は、大学入試センター試験の英語の配点については、リスニングを含み、筆記(200点満点を180点に圧縮)とリスニング(50点満点を20点に圧縮)の合計点を200点満点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 保健学科は、大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合及び英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。

の実施教科・科目等について

(7/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
約3倍	センター試験	100	*50	*50	100	100	100				450	推薦 帰国生 外国人
	個別学力検査等				150	150		150		※	450	追加合格 欠員補充
	計	100	*50	*50	250	250	100	150			900	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	

(3) 医学科の前期日程では、大学入試センター試験の各教科について、傾斜配点(×0.5)を行います。

(4) 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(5) 面接(*印)は総合判定の資料とします。なお、面接時間に応じて変わる場合があります。

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
理工学部 341人 前期 293 後期 48 〔3.4〕	化学・生 物化学科 前期 86 後期 12 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 英【必須】 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
				理	「物基・物」 「化基・化」 } から1	
				外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーシ ョン英語Ⅲ）	
	機械知能 システム 理工学科 73人 前期 60 後期 13 2月25日	前期 後期 3月12日	数 理 外 その他	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B 「物基・物」 「化基・化」 } から1 英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーシ ョン英語Ⅲ）	面接 個人面接／10分程度／面接員複数	
					数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B
					理	「物基・物」 「化基・化」 } から1
前期 60 後期 13 3月12日	後期 3月12日	その他	面接 個人面接／15～20分／面接員複数	面接 個人面接／15～20分／面接員複数		
				数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	
				理	「物基・物」 「化基・化」 } から1	

理工学部注意事項

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせで選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

注2 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語の配点については、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点に換算します。
なお、リスニングを免除された場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。
- 前期日程個別学力検査の理科の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- 面接(*印)は総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。

の実施教科・科目等について

(8/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	AO 推薦 帰国生 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								*			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								*			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	

平成31年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学部 341人 前期 293 後期 48 〔3.4〕	環境創生 理工学科 前期 2月25日 60人 前期 50 後期 10	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】	数理	数I, 数II, 数III, 数A, 数B 〔物基, 物〕から1 〔化基, 化〕
		公民		外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーシ ョン英語Ⅲ）
		理外		その他	面接 集団面接／約20分／面接員複数
	電子情報 理工学科 前期 2月25日 80人 前期 70 後期 10	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】	数理	数I, 数II, 数III, 数A, 数B 〔物基, 物〕から1 〔化基, 化〕
		公民		外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーシ ョン英語Ⅲ）
		理外		その他	面接 個人面接／約10分／面接員複数
総合理工 学科 （フレックス 制） 前期 2月25日 30人 前期 27 後期 3	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】	数理	数I, 数II, 数III, 数A, 数B 〔物基, 物〕から1 〔化基, 化〕 〔生基, 生〕	
	公民		外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーシ ョン英語Ⅲ）	
	後期 3月12日	理外		その他	面接 個人面接／約10分／面接員複数

注) 注意事項が37ページに記載してありますので、参照してください。

の実施教科・科目等について

(9/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
AO 推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
AO 推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
AO 推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
社会人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
社会人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	

〔別紙〕

音楽・美術・保健体育実技試験内容

〔Ⅰ〕音楽

○声楽試験と器楽試験を次のとおり行います。

○前期日程

1 声楽試験

次の(1)、(2)を演奏してください。

(1) コールユーブンゲン視唱

コールユーブンゲン 第1巻 (No.1～No.87) より当日1曲指定します。固定ド、移動ドのいずれかで歌ってください。

【注】※ 以下の楽譜を参考にしてください（試験において使用する楽譜は本学で用意します）。

大阪開成館：『全訳コールユーブンゲン』

音楽之友社：『コールユーブンゲン 巻1』

全音楽譜出版社：『全訳コールユーブンゲン 1』

(2) 以下の歌曲の中から任意の1曲を原語により暗譜で演奏してください。

(a) Mancia,L.(Rosa,S.) : Star vicino 「側に居ることは」 (イ長調/変口長調)

(b) Gasparini,F. : Caro laccio 「いとしい絆よ」 (変ホ長調)

【注】※ 1 調性を必ず選択してください。選択していないものは受け付けません。また、出願後の変更は認めません。

※ 2 伴奏者は本学で用意します。

※ 3 邦訳・調性は全音楽譜出版社『イタリア歌曲集1〔新版〕』によります。

2 器楽試験

選択課題

下記、(a)、(b)いずれかを選択してください。

(a) ピアノ

以下の①、②より各1曲を選び、2曲を演奏してください。演奏曲順は①-②とします。暗譜演奏で、繰り返しは省略してください。

① 任意の練習曲（ただし以下の曲集より選んでください）。

Czerny : Etudes de Mécanisme Op.849 (ツェルニー30番練習曲)

Czerny : Schule der Geläufigkeit Op.299 (ツェルニー40番練習曲)

Cramer=Bülow : 60 Ausgewählte Etüden (クラマー=ビューロー60練習曲)

Moszkowski : Vingt petites études pour piano Op.91 (モシユコフスキー20の小練習曲)

【注】※ 「ツェルニー」を「チェルニー」と表記してある楽譜もあります。

② 任意の自由曲

(b) 管、弦、打楽器（邦楽器を含む）

次の①、②を演奏してください。暗譜演奏で繰り返しは省略してください。

① 次の楽器の中から一つを選択し、中級程度以上の任意の楽曲又は練習曲を無伴奏で演奏してください（4分程度）。

管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

打楽器：小太鼓、マリンバ

邦楽器：箏、三味線

【注】※ 使用する楽器は各自持参してください（マリンバは大学のもの〔音域A～C 4½オクターヴ〕を使用し、マレットは持参してください）。

② 任意の楽曲又は練習曲をピアノで演奏してください。

〔注〕 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

○後期日程

1 声楽試験

前期日程試験と同じ課題

2 器楽試験

前期日程試験と同じ課題

〔注〕 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

〔Ⅱ〕美術

○前期日程

鉛筆デッサン

・モチーフ、イーゼル、カルトン、描画用紙、定着液は本学で用意します。

・鉛筆、消具等は、受験者が持参してください。

・試験時間は3時間です。

○後期日程

鉛筆デッサン

・モチーフ、イーゼル、カルトン、描画用紙、定着液は本学で用意します。

・鉛筆、消具等は、受験者が持参してください。

・試験時間は3時間です。

〔Ⅲ〕保健体育

○前期日程

1. 基礎的運動能力に関する試験

2. スポーツ種目の技能に関する試験：次のスポーツ種目から1種目を選択

器械運動 陸上競技 ダンス 柔道 剣道 バスケットボール バレーボール

※ 実技試験に必要な運動用具（グラウンド用シューズ、体育館用シューズ及び選択するスポーツ種目に必要な服装・用具（剣道防具、柔道着、スパイク等）は、受験者が持参してください。

○後期日程

基礎的運動能力に関する試験

※ 実技試験に必要な運動用具（グラウンド用シューズ及び体育館用シューズ）は、受験者が持参してください。

7. 特別入試

(1) アドミッション・オフィス（AO）入試

専門学科・総合学科特別入試（理工学部）

(1/1)

実施学部・学科名	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募集人員	(学科)	(募集人員)
	化学・生物化学科	2名
	機械知能システム理工学科	4名
	環境創生理工学科	2名
	電子情報理工学科	5名
出願資格	高等学校若しくは中等教育学校の職業に関する学科又は総合学科を卒業した者、又は平成31年3月卒業見込みの者で、下記の要件を満たす者	
出願要件	<p>◎ 化学・生物化学科／環境創生理工学科／電子情報理工学科</p> <p>次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において職業に関する教科・科目(注)を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 職業に関する教科・科目とは、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の各専門教科に属する科目に、「産業社会と人間」（これに準ずる学校設定教科・科目を含む。）を加えた教科・科目をいう。</p> <p>◎ 機械知能システム理工学科</p> <p>次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>	
選抜方法	<p>第1次選抜（出願時提出書類による審査）と、第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験）の結果を総合して選抜します。</p> <p>第1次選抜</p> <p>出願時に提出する下記書類により、志望学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>① 調査書</p> <p>② 志望理由書 「志望学科への進学を希望する理由」及び「大学卒業後の進路・将来の希望」について、記述してください。（大学指定様式。各400字程度、志願者自筆）</p> <p>③ 自己推薦書 これまでの活動や体験に基づいて、志望学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください。（大学指定様式。800字程度、志願者自筆） また、記載内容について客観的に証明できる資料がある場合は、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください。）。</p> <p>証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p> <p>第2次選抜</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力等を総合的に評価します。</p> <p>① 面接（全学科） 化学・生物化学科：個人面接／約25分／面接員複数／口頭試問を含む 機械知能システム理工学科：個人面接／15～20分／面接員複数／口頭試問を含む 環境創生理工学科：個人面接／15～30分程度／面接員複数／口頭試問を含む 電子情報理工学科：個人面接／約15分／面接員複数／口頭試問を含む</p> <p>② 小論文（機械知能システム理工学科のみ） 課題は試験当日に提示します。</p> <p>③ プレゼンテーション（電子情報理工学科のみ） 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p>	
出願期間	平成30年8月1日(水)から8月6日(月)	
選抜期日 (第2次選抜)	平成30年9月7日(金)	
合格者発表	第1次選抜	平成30年8月31日(金)
	第2次選抜	平成30年9月27日(木)
その他	アドミッション・オフィス（AO）入試〈専門学科・総合学科特別入試〉学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。	

(2) 推薦入試

推薦入試（教育学部）

(1/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・国語専攻
募集人員	6名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がAの者</p> <p>2. 学習成績概評がB以上で、国語の評定平均値が4.3以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／約25分／面接員複数／口頭試問含む）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(2/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・社会専攻
募集人員	5名	
出願要件	次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がB以上で、地理歴史及び公民の全履修科目の評定平均値が4.3以上の者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接（集団面接／約30分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(3/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・数学専攻
募集人員	5名	
出願要件	次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 数Ⅱ、数Ⅲ、数Bを履修（見込みを含みます）している者 2. 学習成績概評がB以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接（集団面接／20～25分／面接員複数／口頭試問を含む）・小論文（主に数学的思考力を問う）及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(4/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・理科専攻
募集人員	4名	
出願要件	次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がBかつ理科の評定平均値が4.1以上の者で、物理、化学、生物、地学のうち1科目以上を履修した者又は履修見込みの者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接（集団面接／30～40分／面接員複数／口頭試問を含む）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(5/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・美術専攻
募集人員	2名	
出願要件	次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 学習成績概評がB以上で、美術又は工芸の評定平均値が4.0以上の者 2. 学習成績概評がB以上で、美術及び工芸並びにこれらに類する科目（素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど）について計10単位以上修得又は修得見込みで、その評定平均値が3.5以上の者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接（集団面接／25分～30分／面接員複数）・実技試験及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、作品制作証明書（※）、美術活動調査書、入選・入賞を確認できる書類（コピーでも可））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。 ※ 志願者本人が出身学校在籍中に制作した作品の写真（1作品につき写真1枚）を貼り付けて提出する。 ・5点以内とする。 ・作品の分野は問わない。	
実技試験内容	用意された材料・用具を用いた立体造形物の制作、並びにそれをモチーフとする鉛筆素描。 ・素描のための鉛筆、消具等は、受験者が用意してください。 ・試験時間は、3時間です。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(6/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・保健体育専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>出身学校1校につき1名とし、次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がB以上の者</p> <p>2. スポーツ活動の成績がブロック大会（例：関東大会など）出場以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接及び個人面接、集団面接：約30分/面接員複数/口頭試問を含む、個人面接：約15分/面接員複数/主に競技歴の確認）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、スポーツ活動調査書、競技成績を確認できる資料等（コピーでも可））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

(7/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・障害児教育専攻
募集人員	4名	
出願要件	<p>学習成績概評がB以上の者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接/約30分/面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部 社会情報学科												
募集人員	28名（GFL特別枠及びデータ解析特別枠若干名を含む）												
出願要件	<p>【一般枠】 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>【GFL特別枠】 次のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、英語の評定平均値が4.3以上の者 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、次のi～ivのいずれかを取得している者 <ol style="list-style-type: none"> 実用英語技能検定（英検）：2級以上 TOEIC Listening&Reading Test：550以上（団体向けのTOEIC-IPを含む） TOEFL-iBT：42点以上 GTEC（3技能）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）：675点以上（L&R&W） <p>なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。</p> <p>【データ解析特別枠】 次のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 調査書の学習成績全体の認定平均値が4.0以上の者 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、次のi～iiiのいずれかを取得している者 <ol style="list-style-type: none"> 実用数学技能検定：準1級以上 統計検定：3級以上 情報処理技術者試験（ITパスポートも含め、どの試験区分でも可） <p>なお、データ解析特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。</p>												
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、出願枠ごとに選考を行い合格者を決定します。 なお、下記の出願区分3「GFL特別枠・一般枠併願」又は5「データ解析特別枠・一般枠併願」で出願し、各特別枠で合格とならなかった場合、一般枠にて選考を行います。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般枠</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>データ解析特別枠</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>データ解析特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 選考は、面接（個人面接／15分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）総合して判定します。</p>	出 願 区 分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願	4	データ解析特別枠	5	データ解析特別枠・一般枠併願
出 願 区 分													
1	一般枠												
2	GFL 特別枠												
3	GFL 特別枠・一般枠併願												
4	データ解析特別枠												
5	データ解析特別枠・一般枠併願												

選 抜 方 法	<p>【GFL特別枠】 選考は、面接（個人面接／20分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、資格検定の証明書（出願要件3. i～ivのいずれかで出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>【データ解析特別枠】 選考は、面接（個人面接／20分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、資格検定の証明書（出願要件3. i～iiiのいずれかで出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>
出 願 期 間	平成30年11月1日（木）から11月6日（火）
選 抜 期 日	平成30年11月17日（土）
合 格 者 発 表	平成30年12月7日（金）
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

推薦入試（医学部医学科）

実施学部・学科名	医 学 部	医学科						
募 集 人 員	35名							
出 願 要 件	<p>出身学校1校につき、一般枠と地域医療枠を合わせて5名以内とし、次の各項に該当する者</p> <p>1. 出身学校における調査書類、学習成績、適性評価等に優れ、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属し、人物も優れていて、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ ④に該当する者については、調査書に④と表示してください。</p> <p>2. 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p> <p>※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマテックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p> <p>3. 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>							
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／40分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、適性資質調査書、志願理由書（地域医療枠で出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>下表出願区分のいずれで出願しても合格者の判定は同一の基準により実施します。</p> <p>なお、地域医療枠で出願した場合、合格者判定の結果、成績が募集人員内（35名）にあると判定され、成績順に決められる地域医療枠合格者（10名程度）よりも下位である場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「一般枠」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「地域医療枠」</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>		出 願 区 分		1	「一般枠」	2	「地域医療枠」
出 願 区 分								
1	「一般枠」							
2	「地域医療枠」							
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)							
選 抜 期 日	平成30年11月24日(土)、25日(日)							
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)							
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。							

推薦入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科
募 集 人 員	(専 攻)	(募集人員)
	看護学専攻	30名
	検査技術科学専攻	9名
	理学療法学専攻	8名
	作業療法学専攻	8名
出 願 要 件	<p>次の各項に該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 出身学校における学習成績及び人物に優れ、調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>2. 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p> <p>※国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマティックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p>	
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／20分／面接員複数）、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）及び出願書類（調査書、推薦書）を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選 抜 期 日	平成30年11月23日(金)、24日(土)	
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)	
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（理工学部）

(1/2)

実施学部・課程・専攻名	理工学部	化学・生物化学科								
募集人員	60名（GFL特別枠若干名を含む）									
出願要件	出身学校における成績及び人物に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者で合格した場合は、入学することを確約できる者									
選抜方法	<p>合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。 なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たしている、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">出願区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般枠</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 以下の3項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接（個人面接／約10分／面接員複数／口頭試問を含む） 3. 小論文（理工学教育を受けるための基礎能力を問います）</p> <p>【GFL特別枠】 以下の5項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接（個人面接／一般試問：約10分、GFL試問：約10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 3. 小論文（理工学教育を受けるための基礎能力を問います。） 4. 志願理由書 5. 英語外部検定試験の成績（GTEC CBT、GTEC（4技能版）（オフィシャルスコアに限る）、GTEC（3技能版）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOELC Listening&Reading Test、英検、IELTS、TEAP）のうち1つ以上</p> <p>◎小論文の出題範囲について 数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B 理科：化学基礎、化学</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、活動歴を証明する書類を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>		出願区分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願
出願区分										
1	一般枠									
2	GFL 特別枠									
3	GFL 特別枠・一般枠併願									
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)									
選抜期日	平成30年11月21日(水)									
合格者発表	平成30年12月7日(金)									
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。									

推薦入試（理工学部）

(2/2)

実施学部・課程・専攻名	理工学部	機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科								
募集人員	(学科) (募集人員) ※各学科ともGFL特別枠若干名を含む 機械知能システム理工学科 33名 環境創生理工学科 28名 電子情報理工学科 35名									
出願要件	出身学校における成績及び人物に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者で合格した場合は、入学することを確約できる者									
選抜方法	<p>合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。 なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たしている、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">出願区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般枠</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 以下の2項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接 機械知能システム理工学科（個人面接／15～20分／面接員複数／口頭試問を含む） 環境創生理工学科（個人面接／約20分／面接員複数／口頭試問を含む） 電子情報理工学科（個人面接／約10分／面接員複数／口頭試問を含む）</p> <p>【GFL特別枠】 以下の4項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接 機械知能システム理工学科（個人面接／一般試問：15分～20分、GFL試問：約5～10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 環境創生理工学科（個人面接／一般試問：約20分、GFL試問：約10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 電子情報理工学科（個人面接／一般試問：約10分、GFL試問：約3～5分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 3. 志願理由書 4. 英語外部検定試験の成績（GTEC CBT、GTEC（4技能版）（オフィシャルスコアに限る）、GTEC（3技能版）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOELC Listening&Reading Test、英検、IELTS、TEAP）のうち1つ以上</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、活動歴を証明する書類を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>		出願区分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願
出願区分										
1	一般枠									
2	GFL 特別枠									
3	GFL 特別枠・一般枠併願									
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)									
選抜期日	平成30年11月21日(水)									
合格者発表	平成30年12月7日(金)									
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。									

(3) 帰国生入試

帰国生入試（教育学部）

(1/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・社会専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、日本語による小論文・面接（集団面接／約30分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（教育学部）

(2/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・数学専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、日本語による小論文・面接（集団面接／20～25分／面接員複数／口頭試問を含む）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（教育学部）

(3/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・理科専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、日本語による小論文・面接（集団面接／30～40分／面接員複数／口頭試問を含む）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（教育学部）

(4/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・音楽専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、実技試験・面接（集団面接／15～20分／面接員複数／口頭試問を含む）及び出願書類を総合して判定します。	
実技試験内容	一般入試と同じ課題（41ページ参照）	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（教育学部）

(5/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・美術専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、実技試験・面接（集団面接／約25分～30分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します。	
実技試験内容	推薦入試と同じ課題（48ページ参照）	
出願期間	平成30年11月1日（木）から11月6日（火）	
選抜期日	平成30年11月17日（土）	
合格者発表	平成30年12月7日（金）	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（教育学部）

(6/6)

実施学部・学科名	教育学部	学校教育教員養成課程・障害児教育専攻
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	選考は、日本語による小論文・面接（集団面接／約30分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日（木）から11月6日（火）	
選抜期日	平成30年11月17日（土）	
合格者発表	平成30年12月7日（金）	
その他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部	社会情報学科
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	<p>選考は、日本語による小論文・面接（個人面接／15分／面接員複数）・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。</p>	
出願期間	平成30年11月1日（木）から11月6日（火）	
選抜期日	平成30年11月17日（土）	
合格者発表	平成30年12月7日（金）	
その他	<p>帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。</p>	

帰国生入試（医学部医学科）

実施学部・学科名	医学部	医学科
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選抜方法	<p>選考は、数学、理科、小論文、面接（個人面接／25分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します（大学入試センター試験は課しません）。 なお、出願要件3の資格取得者（国際バカロレア資格等取得者）、TOEIC、TOEFL等の語学検定取得者は、出願時に成績・スコアを提出することにより総合判定の参考とします。</p>	
出願期間	平成31年1月28日（月）から2月6日（水）	
選抜期日	平成31年2月25日（月）、26日（火）	
合格者発表	平成31年3月7日（木）	
その他	<p>帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。</p>	

帰国生入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科
募 集 人 員	各専攻とも若干名	
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選 抜 方 法	選考は、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）、面接（個人面接／20分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します。	
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選 抜 期 日	平成30年11月23日(金)、24日(土)	
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)	
そ の 他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

帰国生入試（理工学部）

実施学部・学科名	理 工 学 部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募 集 人 員	各学科とも若干名	
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。 3. 外国において、次の資格を平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 	
選 抜 方 法	<p>以下の項目を総合して判定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 出願書類 (2) 面接 化学・生物化学科：個人面接／約20分／面接員複数／口頭試問を含む 機械知能システム理工学科：個人面接／15～20分／面接員複数／口頭試問を含む 環境創生理工学科：個人面接／約20分／面接員複数／口頭試問を含む 電子情報理工学科：個人面接／約20分／面接員複数／口頭試問を含む (3) 【機械知能システム理工学科のみ】日本語による小論文（理工学教育を受けるための基礎能力に関することを含みます。） 	
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選 抜 期 日	平成30年11月21日(水)	
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)	
そ の 他	帰国生入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。	

(4) 社会人入試

社会人入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部	社会情報学科
募集人員	若干名	
出願要件	<p>次の1から10のいずれかに該当する者のうち、平成31年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）5年以上を有する年齢23歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 2. 中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 3. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 4. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成31年3月31日までに修了見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 6. 専修学校の高等課程（修業3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 7. 文部科学大臣の指定した者 8. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 9. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により本学以外の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの 10. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>※ 上記9又は10によって本学の出願資格を得ようとする者は、「9.入学資格審査について」(72ページ)を参照してください。</p>	
選抜方法	選考は、小論文・面接（個人面接／15分／面接員複数）・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	社会人入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

社会人入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科
募集人員	各専攻とも若干名	
出願要件	<p>次の1から10のいずれかに該当する者のうち、平成31年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）3年以上を有する年齢25歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 2. 中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 3. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 4. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成31年3月31日までに修了見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 6. 専修学校の高等課程（修業3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 7. 文部科学大臣の指定した者 8. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 9. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により本学以外の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの 10. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>※ 上記9又は10によって本学の出願資格を得ようとする者は、「9.入学資格審査について」(72ページ)を参照してください。</p>	
選抜方法	選考は、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）、面接（個人面接／20分／面接員複数）及び出願書類を総合して判定します。	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月23日(金)、24日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	社会人入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

社会人入試（理工学部）

実施学部・学科名	理工学部	総合理工学科（フレックス制）
募集人員	若干名	
出願要件	<p>次の1から10のいずれかに該当する者のうち、平成31年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）5年以上を有する年齢23歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 2. 中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 3. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 4. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成31年3月31日までに修了見込みの者で、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 6. 専修学校の高等課程（修業3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 7. 文部科学大臣の指定した者 8. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者 9. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により本学以外の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの 10. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 <p>※ 上記9又は10によって本学の出願資格を得ようとする者は、「9. 入学資格審査について」(72ページ)を参照してください。</p>	
選抜方法	<p>以下の2項目を総合して判定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 出願書類 (2) 面接（個人面接／約30分／面接員複数／口頭試問を含む） 	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月21日(水)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	社会人入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。	

(5) 私費外国人留学生入試

実施学部・学科名	教育学部	社会情報学部	医学部			理工学部																																																													
			医学科	保健学科	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科																																																														
募集人員	各専攻とも若干名	若干名	若干名	各専攻とも若干名	各学科とも若干名																																																														
出願要件	<p>次の全ての項に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は有する見込みの者。ただし、日本国の永住許可を得ている者は除く。（注1） 2. 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成31年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号） (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む）を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの (3) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの（注2） 3. 日本学生支援機構が行う「平成30年度（2018年度）日本留学試験（第1回又は第2回）」を、次のとおり受験した者（注3）。理工学部においては、さらに、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP（群馬大学で実施したもの）、TOEIC Listening & Reading Test、TOEIC-IP（群馬大学で実施したもの）及びIELTSのうちいずれか1つを平成29年1月以降に受験していること。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部・学科・専攻名</th> <th rowspan="2">日本語</th> <th rowspan="2">数学</th> <th rowspan="2">総合科目</th> <th colspan="3">理科</th> <th rowspan="2">出題言語</th> </tr> <tr> <th>物理</th> <th>化学</th> <th>生物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育</td> <td>○</td> <td>コース1</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>数学、理科、技術</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>社会情報学部</td> <td>○</td> <td>コース1 又は コース2</td> <td>総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択</td> <td colspan="3"></td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>医学部 医学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>英語</td> </tr> <tr> <td>保健学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>日本語</td> </tr> </tbody> </table> <p>【私費外国人留学生入試注意事項】 （注1）日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校等（文部科学大臣が認定した在外教育施設を含む。）を卒業した者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 （注2）個別の入学資格審査により本学への出願資格を得ようとする者は、平成31年1月9日（水）までに次の問合せ先まで申し出て、所定の申請手続きを行い、認定を受ける必要があります。 問合せ先：群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話：027（220）7150 所在地：〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 （注3）平成30年度（2018年度）日本留学試験の第1回、第2回のいずれも受験している場合は、利用する成績は受験者が指定するどちらか一方となります。</p>								学部・学科・専攻名	日本語	数学	総合科目	理科			出題言語	物理	化学	生物	教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育	○	コース1	○	-	-	-	日本語	数学、理科、技術	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語	社会情報学部	○	コース1 又は コース2	総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択				日本語	医学部 医学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			英語	保健学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語	理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科	○	コース2	-	○	○	-	日本語
学部・学科・専攻名	日本語	数学	総合科目	理科			出題言語																																																												
				物理	化学	生物																																																													
教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育	○	コース1	○	-	-	-	日本語																																																												
数学、理科、技術	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語																																																												
社会情報学部	○	コース1 又は コース2	総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択				日本語																																																												
医学部 医学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			英語																																																												
保健学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語																																																												
理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科	○	コース2	-	○	○	-	日本語																																																												

選 抜 方 法	大学入試センター試験を免除し、下記の①～③を総合して判定します。	
	① 日本学生支援機構が行う「平成30年度（2018年度）日本留学試験」の成績。理工学部においては、さらに、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP（群馬大学で実施したもの）、TOEIC Listening & Reading Test、TOEIC-IP（群馬大学で実施したもの）、IELTSのうち平成29年1月以降に受験したいずれか1つの成績 ② 各学部で実施する個別学力検査等（次表のとおり）	
	学部・学科名	個別学力検査等
	教育学部	一般入試（前期日程）と同じ試験等 ※美術専攻・保健体育専攻については、一般入試（前期日程）と異なる試験になりますので、募集要項で確認してください。
	社会情報学部	数学、英語及び面接（個人面接／10分／面接員複数）
	医学部	医学科 保健学科
	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
		面接（個人面接／約15分／面接員複数） 面接（個人面接／15～20分／面接員複数） 面接（個人面接／約20分／面接員複数） 面接（個人面接／約10分／面接員複数）
	③成績証明書	
出 願 期 間	平成31年1月28日（月）から2月6日（水）	
選 抜 期 日	各学部・学科の選抜期日は次表のとおりです。	
	学部・学科名	選抜期日
	教育学部	平成31年2月25日（月）
	社会情報学部	平成31年2月25日（月）
	医学部	医学科 保健学科
	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
		平成31年2月25日（月） 平成31年2月25日（月）・26日（火） 平成31年2月26日（火）
合 格 者 発 表	平成31年3月7日（木）	
そ の 他	◎ 募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。 ◎ 日本留学試験については、日本学生支援機構留学生事業部留学試験課へ照会してください。 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話：03（6407）7457	

- 備考 1. 教育学部卒業者は、所定の教育職員免許状を取得できます。
 なお、教員募集の出願資格は各都道府県等によって異なるので、出願する都道府県等の教育委員会に問合せください。
2. 医学部医学科卒業には、医師国家試験の受験資格が与えられます。
3. 医学部保健学科卒業には、それぞれの専攻に対応した各国家試験の受験資格が与えられます。
4. 理工学部志願者の TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC Listening & Reading Test、TOEIC-IP 及び IELTS 試験の成績確認方法は、次表のとおりです。
5. 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また面接時間の長さは合否には影響しません。

対 象	成績確認方法
TOEFL-PBT TOEFL-iBT のスコア (平成29年1月以降に実施されたもの)	本人宛に送付されたスコア (Examinee Score Report) の原本とそのコピー1部 (A4サイズ) を提出してください。原本は別途返送します。
TOEFL-ITP のスコア (平成29年1月以降に群馬大学が実施したものに限り)	群馬大学が実施した TOEFL-ITP テストのスコアカードの原本とそのコピー1部 (A4サイズ) を提出してください。原本は別途返送します。
TOEIC Listening & Reading Test のスコア (平成29年1月以降に実施されたもの)	Official Score Certificate の原本とそのコピー1部 (A4サイズ) を提出してください。原本は別途返送します。
TOEIC-IP のスコア (平成29年1月以降に群馬大学が実施したものに限り)	群馬大学が実施した TOEIC-IP テストの Score Report の原本とそのコピー1部 (A4サイズ) を提出してください。原本は別途返送します。
IELTS のスコア (平成29年1月以降に実施されたもの)	本人宛に送付されたスコア (Test Report Form) の原本とそのコピー1部 (A4サイズ) を提出してください。原本は別途返送します。

8. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

時期を過ぎてからの相談は、対応できない場合がありますので、ご注意ください。

① 一般入試：平成30年11月9日（金）までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。（私費外国人留学生入試を含みます。）

ただし、点字又は代筆による解答を希望する者は、平成30年11月9日（金）以前のできるだけ早い時期に相談してください。

② 特別入試：アドミッション・オフィス（AO）入試は平成30年7月27日（金）まで、推薦、帰国生及び社会人入試は平成30年10月1日（月）まで（医学部医学科の帰国生入試は平成30年11月9日（金）まで）としますが、なるべく早い時期に相談してください。（私費外国人留学生入試を除きます。）

(2) 相談の方法

本学所定の相談書に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(3) 連絡先

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 電話：027（220）7150

9. 入学資格審査について

一般入試については、17ページの出願資格⑨又は⑩、社会人入試については67～69ページの出願資格9又は10により本学への出願資格を得ようとする者は、本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。

詳細については、本学ホームページ（<http://www.gunma-u.ac.jp/prospective>）の入試案内を参照するか、本学学生受入課（上記8の(3)連絡先を参照のこと）へ問合せください。

10. 注意事項

(1) 受験票

大学入試センターから送付される平成31年度大学入試センター試験受験票は、紛失したり汚損したりすることのないよう大切に保管し、本学の個別学力検査等の試験当日、本学受験票と一緒に必ず持参してください。

(2) 成績請求票

① 大学入試センターから送付される成績請求票は、本学の個別学力検査等の試験に出願する際に、他の出願書類とともに提出しなければなりません。したがって、個別学力検査等の試験の出願時まで、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保管してください。

② 本学への出願には、志願する学部の日程区分に従い、「前期日程用」若しくは「後期日程用」を使用してください。

(3) 写 真

本学への出願には、平成31年度大学入試センター試験の受験票に使用した写真と同じもの（タテ4cm×ヨコ3cm1枚）を使用するのが望ましいですが、紛失等やむを得ない場合は、出願前3か月以内に撮影したものを使用してください。

11. 入試過去問題の利用について

(1) 本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。

(3) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

(4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しております。

<http://www.nyushikakomon.jp>

12. 募集要項の発表時期

募集要項の種別	発表時期	備考
一般入試学生募集要項	9月中旬	群馬大学ホームページで公開
私費外国人留学生入試	9月中旬	群馬大学ホームページで公開
アドミッション・オフィス（AO）入試学生募集要項	7月上旬	群馬大学ホームページで公開
推薦入試学生募集要項	9月中旬	群馬大学ホームページで公開
帰国生・社会人入試学生募集要項	9月中旬	群馬大学ホームページで公開

13. 平成31年度群馬大学一般入試の志願状況等の発表

以下の Web サイトを通じて、志願状況等の発表を予定しています。

情報の内容	Web サイト	期間
志願者数・志願倍率	群馬大学ホームページ（大学からのお知らせ） URL http://www.gunma-u.ac.jp	願書受付期間中更新 （確定値） 平成31年2月8日（金） （13時）
欠員補充第2次募集実施の有無	群馬大学ホームページ（大学からのお知らせ） URL http://www.gunma-u.ac.jp	平成31年3月28日（木） 以降